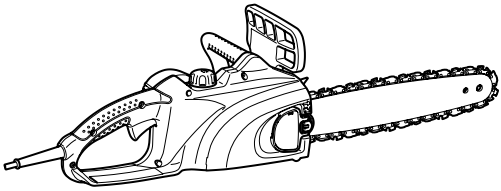
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

チェーンソー

- 300mm モデル MUC301
- 350mm モデル MUC351
- 400mm モデル MUC401



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要のない製品です。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**チェーンソー**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

主要機能

モデル / 主要機能	MUC301	MUC351	MUC401
電動機	直巻整流子電動機		
電圧	単相交流 100V		
電流	15A		
周波数	50-60Hz		
消費電力	1430W		
切断有効長さ	300mm	350mm	400mm
チェーンスピード	13.3m/s		
使用チェーン刃	オレゴン 91VG-46E	オレゴン 91VG-52E	オレゴン 91VG-56E
機体寸法（チェーン刃、ガイドバー除く）	長さ 436mm ×幅 244mm ×高さ 200mm		
質量（チェーン刃、ガイドバー除く）	3.8kg	3.8kg	3.8kg

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA001-9

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で､子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⚠警告

10. 防音用保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。
- 加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（加工する材料を動かす製品は除く。）

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 使用しない、又は修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠警告

20.油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

21.損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は当社営業所に修理をお申し付けください。
- スイッチで始動及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23.電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

チェーンソー安全上のご注意

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB073-4

⚠警告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. **チェーンソーを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。**
・ 感電のおそれがあります。
3. **使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。**
・ 本機がはね返り、けがの原因となります。
4. **チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。**
・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃が外れ、けがの原因になります。
5. **はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。**
・ けがの原因になります。
6. **肩の高さより高い位置で使用しないでください。**
・ けがの原因になります。
7. **ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。**
・ 本機が跳ね返り（キックバック）けがの原因になります。
8. **使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。**
・ けがの原因になります。
9. **使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。**
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. **誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. **〔事業者の方へ〕樹木を伐り倒す作業や伐り倒した樹木を切断する作業を行う場合は法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。**

関連法令	労働安全衛生法	第 59 条第 3 項
	安全衛生特別教育規程	第 10 条の 2
	労働安全衛生規則	第 36 条第 8 号の 2

⚠注意

1. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 感電のおそれがあります。
2. 使用しないときは、ガイドバーにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
・ けがの原因になります。
3. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
・ 本機が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。
4. 作業中は常に手袋、保護めがね、耳栓を使用し、履き物は滑りにくいものを着用してください。
・ けがの原因になります。
5. 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。
・ 刃物が石などに当たると、けがの原因になります。
6. 切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。
・ けがの原因になります。
7. 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
・ ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。

注

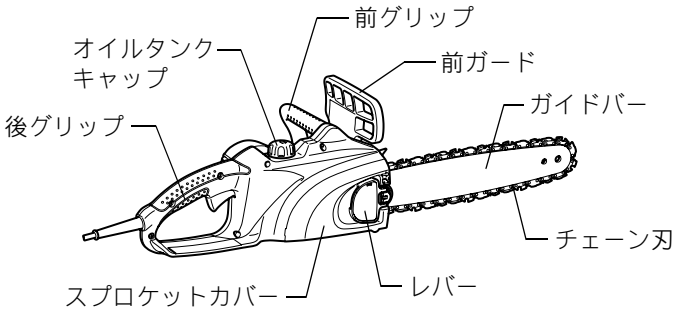
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

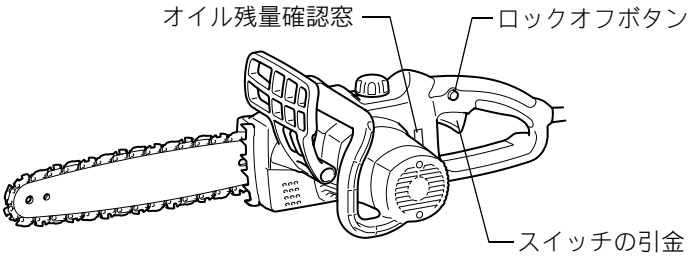
使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
0.75mm^2	20m	—	—
1.25mm^2	30m	15m	10m
2.0mm^2	50m	30m	20m

・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

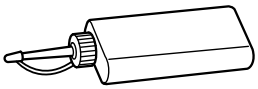
各部の名称および標準付属品



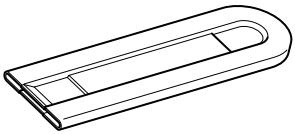


標準付属品

・ チェーンオイル



・ チェーンカバー



別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、裏表紙掲載の当社営業所へお問い合わせください。

・ チェーン刃
部品番号 A-30019（MUC301 用）
部品番号 A-12837（MUC351 用）
部品番号 A-12843（MUC401 用）

・ ガイドバー
部品番号 165200-0（MUC301 用）
部品番号 165201-8（MUC351 用）
部品番号 165202-6（MUC401 用）

・ デプスゲージジョインタ
部品番号　D953100071

・ 丸ヤスリ
直径 4mm （ハンドル付）：部品番号　A-44024
直径 4mm （ハンドルなし）：部品番号　D953003090

・ 平ヤスリ（ハンドルなし）
部品番号　D953003060

・ ハンドル（ハンドルなしタイプの丸ヤスリ、平ヤスリ用）
部品番号　D953004010

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずし方

⚠警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと、事故の原因になります。

⚠注意

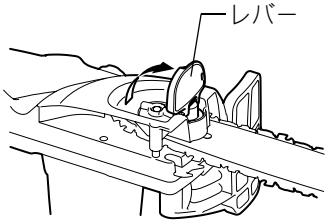
チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。
・ けがの原因になります。

チェーン刃の調整

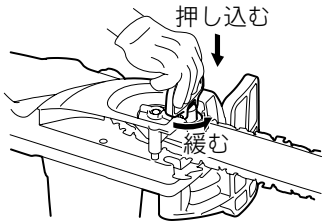
⚠警告

チェーン刃は、必ず適正な張りに調整してください。
・ 張り方がゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

・ レバーを図のように起こします。

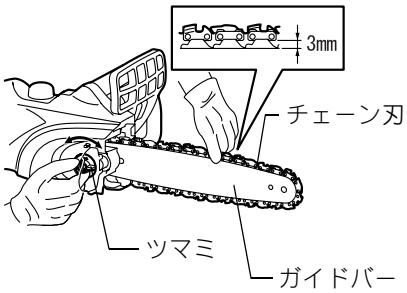


・ レバーを押し込みながら左（反時計回り）へ約 1/4 回転回してナットを軽く緩めます。（レバーを押し込むとガイドバーを固定しているナットとレバーがかみ合います。）



使い方

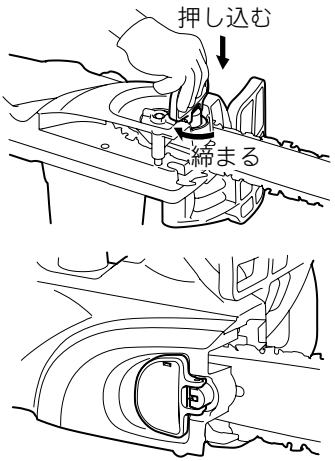
・ ガイドバーの中央部でチェーン刃を持ち上げて本機が浮きあがった時、ガイドバーとチェーン刃との間が、3mm程度になるようにツマミを回してチェーン刃の張りを調整します。



・ この時、ガイドバーの先端を軽く持ち上げた状態で調整します。

・ レバーを押し込みながら右（時計回り）へ回してナットをしっかり締めます。

・ レバーを元の位置へ倒します。

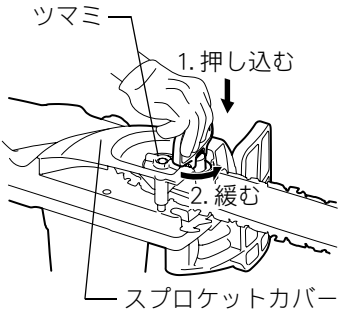


注

- チェーン刃が新しい間は伸びがちですので、時々調整してください。
- チェーン刃の張りすぎは、チェーン刃の切断、ガイドバーの摩耗、ツマミの破損などの原因になります。
- 張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。
- チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切り屑などのないきれいな場所で行ってください。

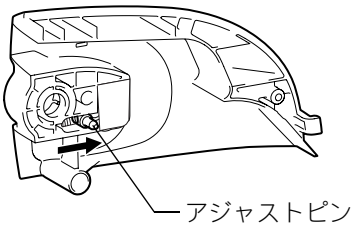
チェーン刃の取りはずし方

・ レバーを起こします。
・ レバーを押し込みながら左へ回してスプロケットカバーがはずれるまでナットを緩めます。
・ ツマミを左へ回してチェーン刃の張りを緩めます。
・ スプロケットカバーを取りはずします。
・ チェーン刃､ガイドバーを本機より取りはずします。

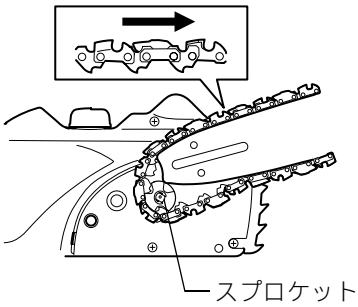


チェーン刃の取り付け方

・ 事前にスプロケットカバーのツマミを左へ回してアジャストピンを後へずらしておきます。

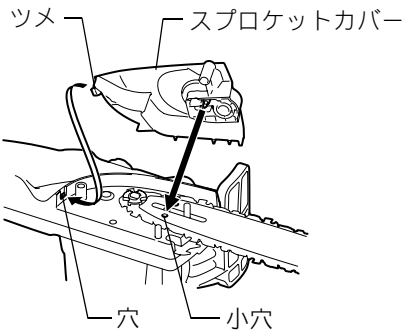


・ ガイドバーの先端にチェーン刃を入れ、他端を本機のスプロケット部に入れます。
・ この際、チェーン刃は矢印方向に回転しますのでチェーン刃の方向を図のようにセットします。
・ ガイドバーを本機の取り付け面にのせます。

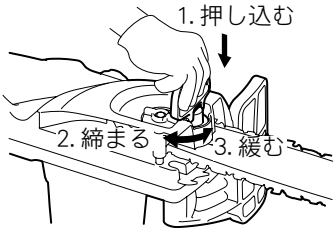


使い方

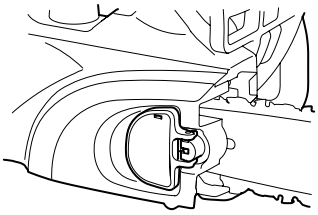
・ スプロケットカバー後部のツメを本機の穴に引っ掛けてから、アジャストピンをガイドバーの小穴に入れてスプロケットカバーをかぶせます。
この際、アジャストピンの位置がずれてガイドバーの小穴にはまらない場合は再度ツマミを回してアジャストピンの位置を調整します。



・ レバーを押し込みながら右へ回してナットを一旦締めてから、左へ約 1/4 回転回して軽く緩めます。



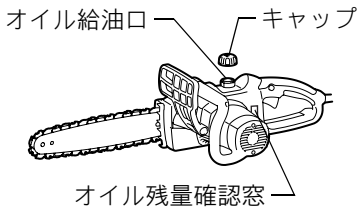
・ チェーン刃の調整（P10 参照）に従って、チェーン刃の張りを調整し、レバーを押し込みながら右へ回してナットをしっかり締めます。
・ レバーを元の位置へ倒します。



使い方

チェーンオイルについて

- チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。
- オイル残量確認窓にてオイルタンク内のチェーンオイル量を確認します。
- チェーンオイルの補充はオイル給油口のキャップを取りはずして入れます。容量は約 200mL です。



注

- **はじめてお使いになるときは、チェーンオイルをオイルタンク一杯に入れてください。**
- **チェーンオイルは、マキタチェーンソー専用オイルまたは市販のチェーンソーオイルか下記のエンジンオイルをご使用ください。**
- **夏期：SAE No.20W-40**
- **冬期およびヤニなどの樹脂の多い木：SAE No.10W-30**
- **ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。**

チェーンブレーキ

⚠ 警告

ブレーキを解除する前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

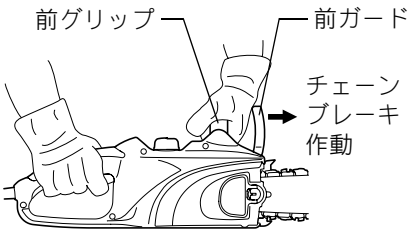
- スイッチをいれたままブレーキを解除すると急にチェーン刃が回り、事故の原因になります。

- 本機は万一、キックバック（はね返り）が生じた場合、危険を少なくするために急ブレーキ装置を備えています。

使い方

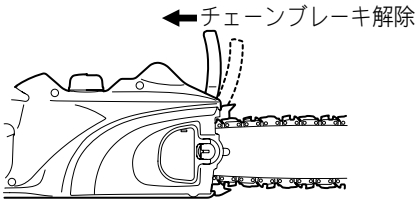
ブレーキの操作

・ 本機の前ガードに前グリップを持っている手の甲がキックバックによりあたって倒れるか、または手の甲で前ガードを前方に倒しますとブレーキが作動し、瞬時にチェーン刃は停止します。

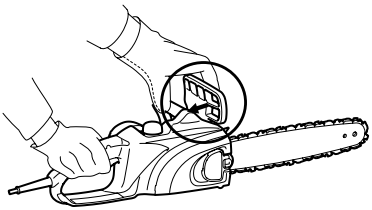


ブレーキの解除

・ ブレーキを解除するには前ガードを手前に「カチッ」と音がするまで引き戻します。



・ 引き戻す際、前ガードの本機との接続部付近（図の〇印部）を強く引き寄せます。



注

・ ブレーキの作動を作業前に確認してください。
・ 使用前にチェーンブレーキが作動していないか確認してください。

使い方

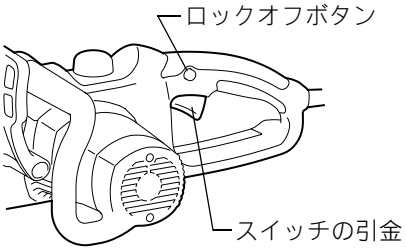
スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、離すと切れます。
・ スイッチの引金を離すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。



切断方法

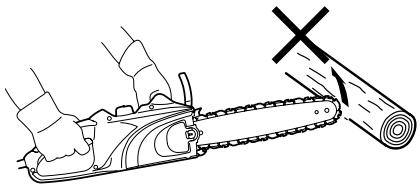
⚠ 警告

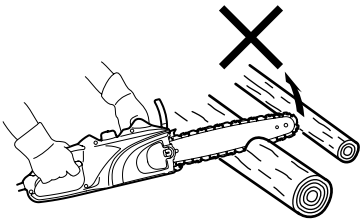
使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。

・ けがの原因になります。

ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。

・ 機体が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。





⚠ 注意

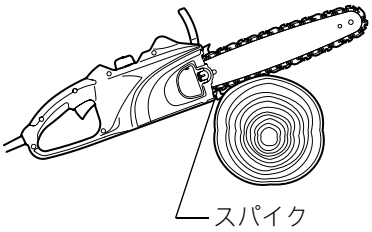
切断材料は、しっかり固定してください。また切り落とし材に十分注意してください。

・ けがの原因になります。

2 台以上で作業するときは、安全な距離をおいてください。

・ 事故の原因になります。

・ チェーン刃を木材より離してスイッチを入れ、チェーンオイルが十分にチェーン刃に付着してから切断作業に入ります。
・ 本機を木材に当てて、そのまま真下へ押して切断します。
・ 本機前部のスパイクを木材に当てて切断すると、本機が安定します。



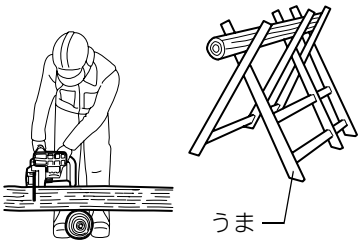
注

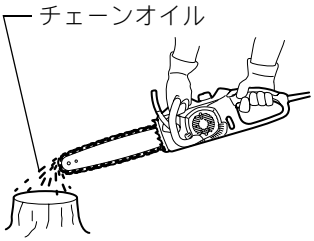
・ 本機に無理な力を加えないでください。

チェーンソーによる各種の作業方法

基本的な作業

・ 回り止めやうまなどを用いて、木材が動かないように固定します。
・ ハンドルを両手でしっかり握り、チェーン刃を木材より離してスイッチを入れます。
・ ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認します。
・ ガイバーの中央部付近を木材に当てて、そのまま真下へ本機を押して切断します。この際、無理に本機に力を入れないでください。



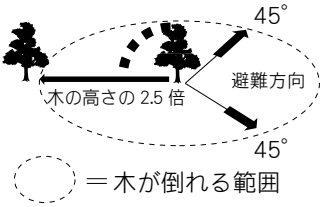


各種の切断作業例

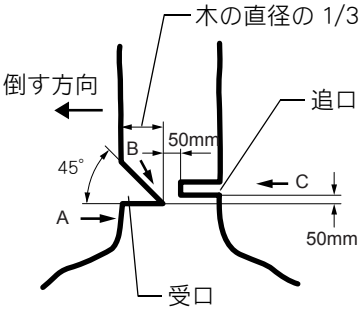
・ 伐木作業（立ち木を倒す作業）や造材作業（倒した木を切断する作業）をするときは、伐木などについての講習を受けたり、お買い求め先に相談して適切な指導を受けてください。

使い方

伐木作業（立ち木を倒す作業）



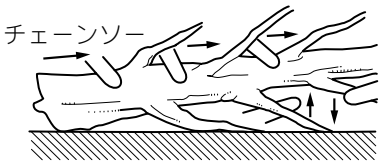
- 倒す木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考えて倒す方向、避難する方向を決めます。
- 周囲の障害物を取り除き、足場の安全を確認します。倒す木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
- 図のように木を倒す方向に、直径の 1/3 程度の切り込みを A 、B の順に入れて受口を作ってください。
- 受口の水平部より約 50mm 上部に、受口の水平部と平行に追口C を切り込んでください。
- 追口の切り込みが樹心を越えますと木が倒れ始めます。木が倒れ始めましたら、切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。



- 木が所定の方向に倒れそうもない場合やチェーン刃、ガイドバーが挟まれたときは作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正したりチェーン刃、ガイドバーが挟まれないようにしてください。

枝払い作業

- 倒した木の枝払いは、まず上部、側面の枝を一方向より切り落としてください。
- 幹を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落としてください。



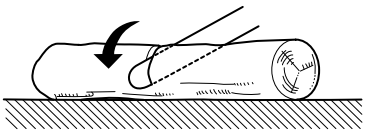
造材作業（倒した木を切断する作業）

丸太の置かれている状態により切断方法が異なります。次のように切断してください。

使い方

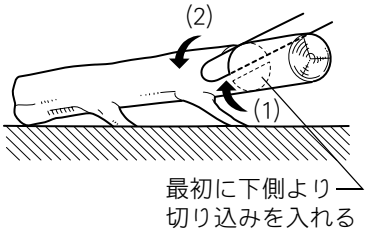
1. 丸太全体が地面に接している場合

(1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げてください。切り終わりにチェーン刃が地面に触れないように注意してください。



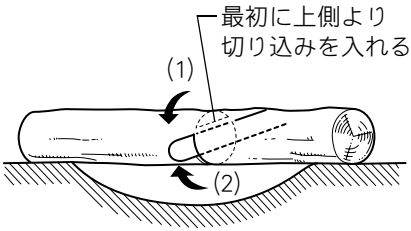
2. 丸太の一端が支持されている場合

(1) 最初に丸太の下側より直径の 1/3まで切り込んでください。
(2) 下側から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて上部から切断してください。



3. 丸太の両端が支持されている場合

(1) 最初に丸太の上部より直径の 1/3まで切り込んでください。
(2) 上部から入れた切り込みと一致するように位置を合わせて下側から切断してください。

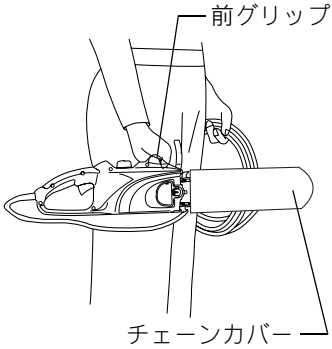


4. 斜面で丸太を切断する場合

(1) 最初に丸太がころがって落ちないようにクサビや杭などを用いて丸太を支えてください。
(2) 山側に立って、1. ～ 3. の内の適した方法で作業してください。

チェーンソーの持ち運び

・ チェーンソーを持ち運ぶときは、チェーンカバーをガイドバーにかぶせ、前グリップを持って運んでください。



保守・点検について

⚠警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
・ プラグを電源につないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

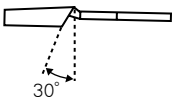
チェーン刃の目立て

⚠警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。
・ 特にデプスゲージの寸法が大きくなり過ぎますと、チェーン刃が切れやすくなり、けがの原因になります。

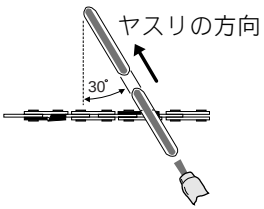
チェーン刃各部の名称

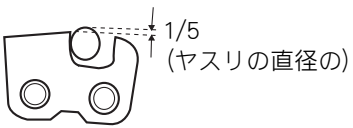
目立て角度
上刃目立て角度

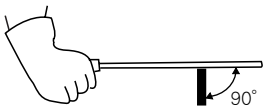


1）上刃および横刃の目立て

・ ガイドバーに対して丸ヤスリ（別販売品）を 30° 傾け、丸ヤスリの直径の 1/5 が上刃よりでるようにチェーン刃に当ててください。
・ 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをしてください。



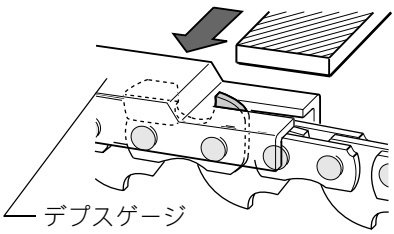


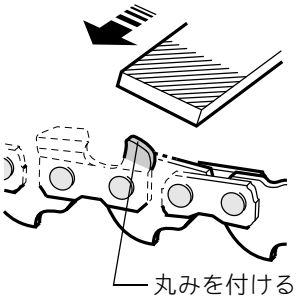


ヤスリは水平に

2）デプスゲージの調整方法

- デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正（0.64mm）に保つためのものです。
- デプスゲージジョインタ（別販売品）を図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。
- デプスゲージの角に丸味を付けてください。
- デプスゲージの調整が終りましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落としてください。



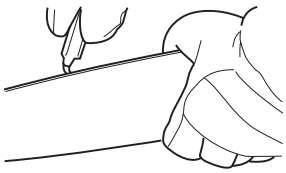


注

- **刃部の目立てには、外径が 4mm （呼び 5/32″ ）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。**

ガイドバーの清掃

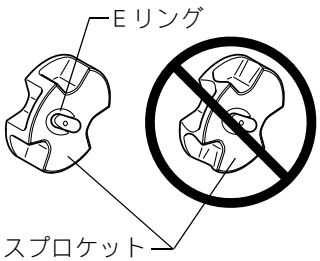
- ご使用中に、切り屑がガイドバーにつまることがあります。切り屑がガイドバーの溝につまりますと、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切り屑を除去してください。



保守・点検について

スプロケットの交換

- チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
- スプロケットの状態がイラストのように磨耗している場合、スプロケットを新品と交換してください。
- スプロケットを交換するときには必ず新品のEリングを使用してください。



本機の保管

- スプロケットカバーを取りはずし、本機に付着した切り屑を除去してください。
- チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にして、タンクキャップが上側になるように本機を置いて保管してください。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141

事業所名	電話番号
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(571) 6451
名古屋営業所	〈052〉(571) 6451
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
津営業所	〈059〉(232) 2446
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6351) 8771

事業所名	電話番号
大阪営業所	〈06〉(6351) 8771
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

882249B2

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 （代表）